令和3年度

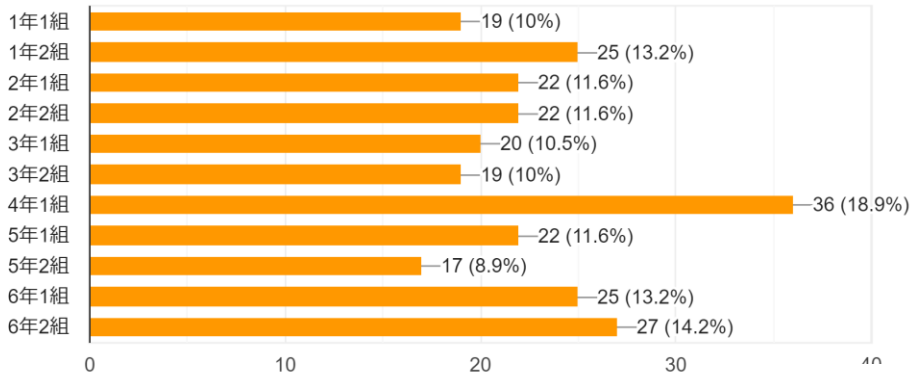
大明小学校の教育について（保護者アンケート）集計結果【後期】

調査対象人数　家庭数218　うち190名　　87．15％

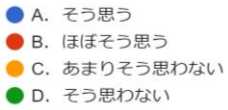
調査実施期間：12月3日～10日まで

在籍しているクラスを選んでください。

190 件の回答

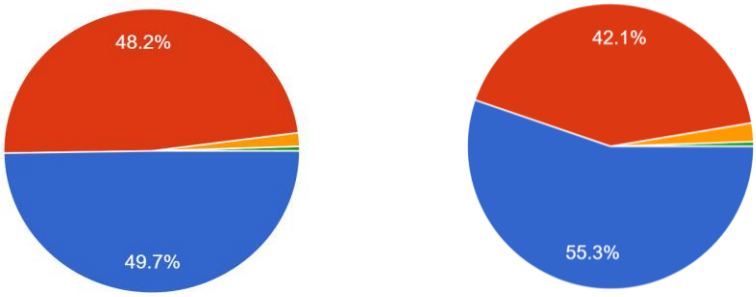


＊グラフは，左側が前期・右側が後期になります。



1．学校は，子どものよさや個性を理解し，努力を認めて対応している。

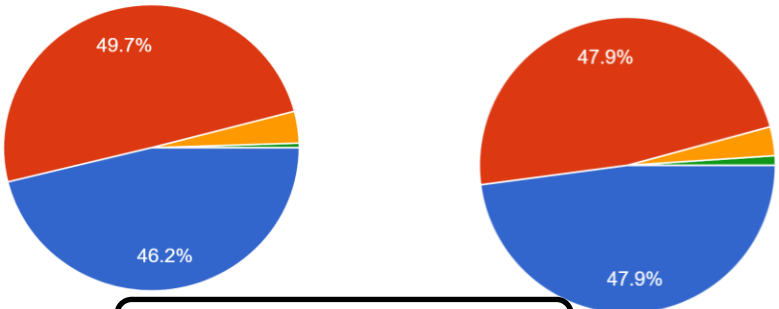
195 件の回答　　190 件の回答



９７．９％ ⇒ ９７．４％

2．学校は，子どもについての悩みや心配事に適切に対応している。

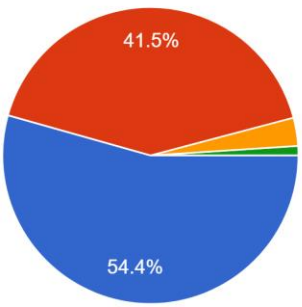
195 件の回答

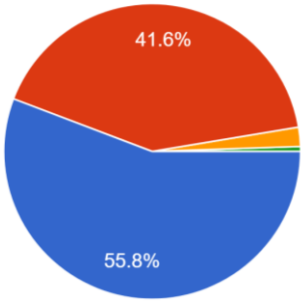


９５．９％ ⇒ ９５．８％

3．学校からの文章や連絡等は適切である。

195 件の回答

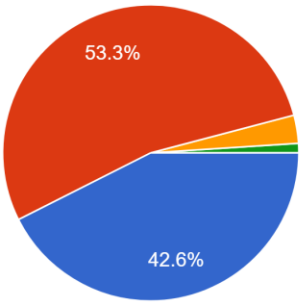


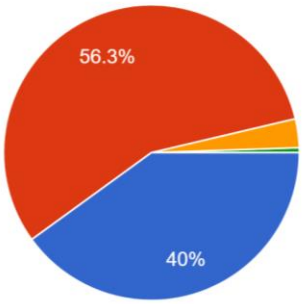


９５．９％ ⇒ ９７．４％

4．学校は，教育活動に適した施設・設備が整っている。

195 件の回答

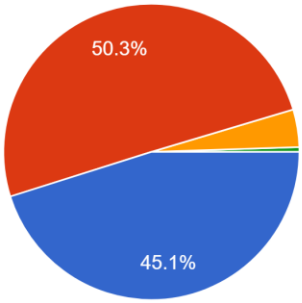


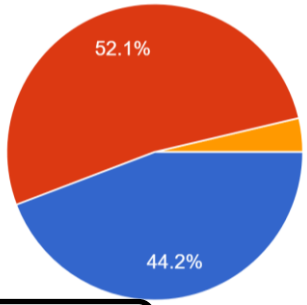


９５．９％ ⇒ ９６．３％

5．学校は，地震・災害・不審者対策をよく示している。

195 件の回答

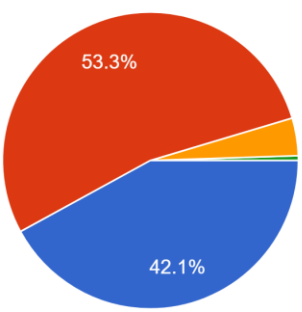


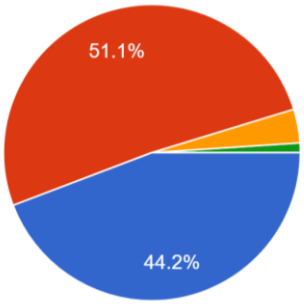


９５．４％ ⇒ ９６．３％

6．学校は，保護者，地域と連携・協働して教育活動を行っている。

195 件の回答

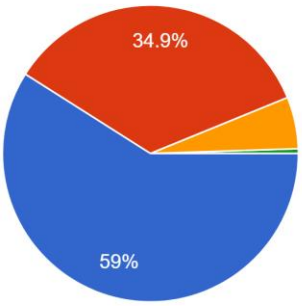


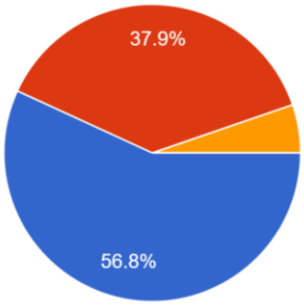


９５．４％ ⇒ ９５．３％

7．子どもは，学校に行くことを楽しみにしている。

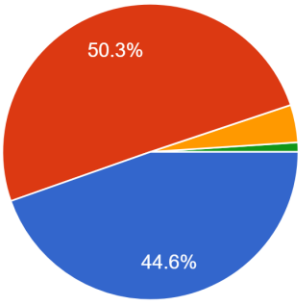
195 件の回答

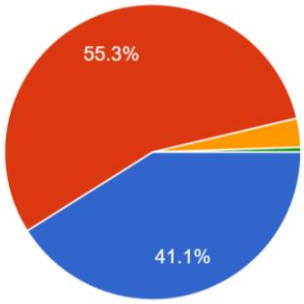




９３．９％ ⇒ ９４．７％

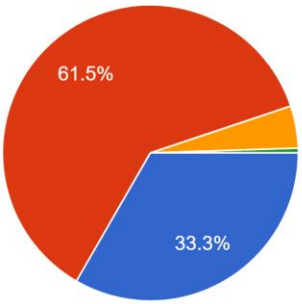
8．子どもは，学校生活の中で，本校具体的行動目…も)など，豊かな心，生き方について学んでいる。
195 件の回答

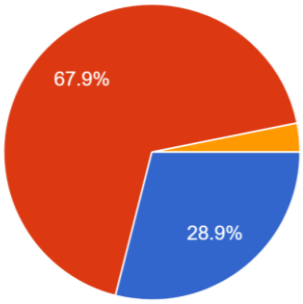




９４．９％ ➡ ９６．４％

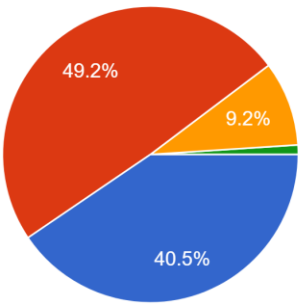
9．子どもは，授業を十分に理解している。
195 件の回答

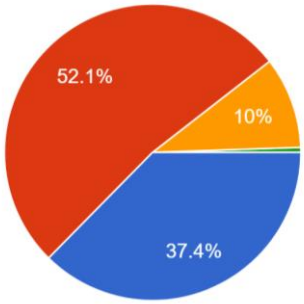




９４．８％ ➡ ９６．８％

10．子どもは，「早ね　早起き　朝ごはん」の基本的生活習慣が身についている。
195 件の回答

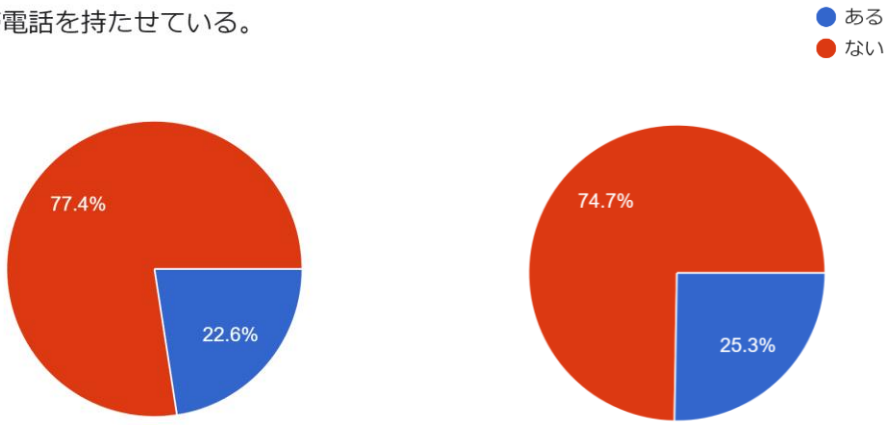




８９．７％ ➡ ８９．５％

11. 子どもに携帯電話を持たせている。

195 件の回答

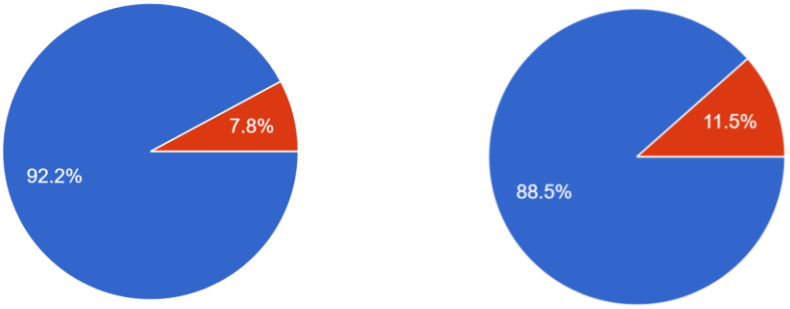


７７．４％ ⇒ ７４．７％

12. 子どもと携帯電話のルール作りをしている。(携帯電話を持たせている場合のみ回答)

51 件の回答

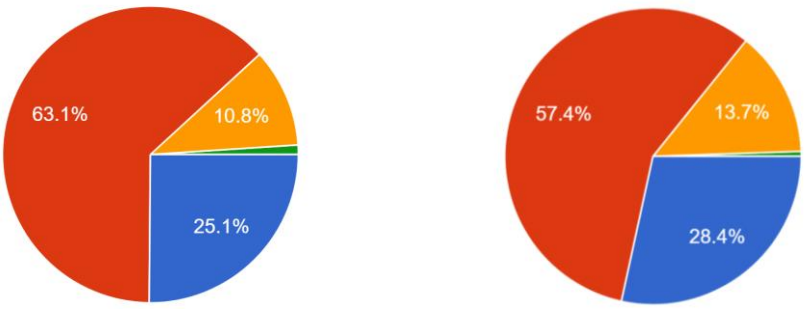
52 件の回答



９２．３％ ⇒ ８８．５％

13. 子どもたちは，家庭や地域の中で，あいさつをしている。

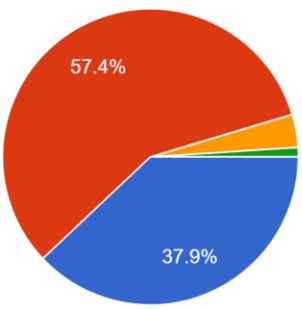
195 件の回答

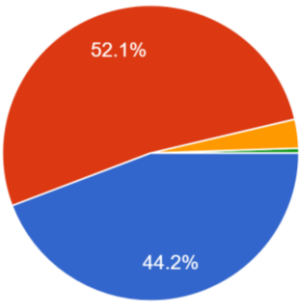


８８．２％ ⇒ ８５．８％

14．家庭と学校は，連絡や意志の疎通が図られている。

195 件の回答





９５．３％ ⇒ ９６．３％

各質問項目についてのご意見，日ごろ感じていることがありましたら御記入ください。特にC･Dに○をつけた場合は，改善につなげていきたいと思いますので，改善に生かせるようなご意見がいただければ幸いです。

○些細なことでも先生が親身になってくれるのでとても安心して預けられています。これからも宜しくお願いします。

○常に情報をくださり，ありがたいです。心配なことも相談できます。また，校長先生の学校通信や，ホームページの，学校生活の写真など，子供のことを一番に考えてくださっていることが，伝わります。ありがとうございます。

○先生方の日々の努力ありがとうございます。子供が，自分で考えて必要と思うことを話せるように家庭でも気をつけて行きたいと思っています。

○いつもありがとうございます。個性をしっかりと受け止め，良いところを伸ばそうとしてくれていることがわかります。ありがとうございます。

○担任の先生が熱心に子どもを見てくださり，とてもありがたく思っています。

○いつもお世話になっております。特に担任の先生方には，懸命に子どもたちに関わって下さっていることに感謝しております。体調に関することや学習面での細やかな指導等，お忙しい中丁寧に対応して頂き，ありがとうございます。

○子供の自信となる関わりをしてもらっています。ありがとうございます。

○いつも子供にご指導下さりありがとうございます。先生には大変良く見て頂き感謝しております。良い先生に出会い，息子たちは頑張る力がとても付いたと思っています。これからもよろしくお願いいたします。

○連絡ノーとの子供の一言に毎回返答があり子供から話がなくても先生と会話をしてるということがわかり学校生活を送っていることがノートを通してわかるのでありがたい。

〇子供のことを考え，良く対応していただき，ありがたいです。

〇２年生で「学びちょ金」という通帳が配られましたが，子供は自主勉強が楽しく感じているようでした。通帳の内容も凝っていて，親も楽しみながらサインできました。
〇４年生は人数が多いですが，感染対策を徹底していただきありがとうございます。

▽低学年の子は，先生が見てないない時に高学年の子に少しキツイ言葉を言われたり，遊具を貸してもらえなかったりする事が何回かあったようです。みんなで気持ち良く遊べるといいなと思います。
▽あいさつは集団登校でも，なかなかできないですね。恥ずかしかったりするのかもしれません。返しがなくても，根気よく大人から元気にあいさつするようにしたいと思います。

▽あいさつをもっとできたらいいと思います。

▽入学当時の下校の時，付き添いがいなくて，帰り方が分からない子供がいました。他の子供の親もその子の家が分からなくて，困っていたと言う事がありました。学校を出てからは，親の責任である事をしっかり伝えた方が良いと思います。

▽9番については子供のレベルの問題が大きいと思いますが，先日も割り算の宿題が出来なくて心配になりました。

▽コロナで色んな事が制限されていて，子供達は言われるがままにマスクや消毒の生活をしています。重症化しにくい子供達はもう少しのびのびと過ごしてもいいのではないでしょうか。呼吸する事の大切さ，自分が持っている免疫力をあげることなどを教えて，もっと心と体を大切に楽しい事をしてあげてほしいです。

▽学校で起きた事(特に人を傷つけた)などした場合，家庭に連絡してほしい。家庭でも指導ができるので。連絡しないで学校で片付けるのは辞めてほしい。

▽コロナ禍になって更に，学校との距離が空いてる気がして寂しく思います

▽今年度もコロナ対策を考慮しながらの学校生活を送るのは，大変だったと想像しています。普段の生活や授業等の様子はあまり分かりませんが，運動会と文化発表会を拝見して学校全体に対して感じたことをお伝えしたいと思います。

指導要領が改訂され，学びの形も変化してきている中，担任の先生のお話から授業の工夫をされていることは伝わってきますが，行事には例年通りのものが殆どだという印象です。先生方が，様々なことを考えた上で児童に提案して下さっているのだとは思いますが，それは子どもたちの気持ちとは関係なく，先生が決めたことをいかに練習して実行，表現するかというものに見えてしまいます。指導要領の三つの柱にもある，思考力，判断力，表現力をどう捉えていますか。子どもの声を聞いてみて欲しいです。本当はどんなことがしたいか。大人には想像出来ないことを考え，実行する力が本来の子どもにはあるはずです。保護者を含めた見ている大人が評価して良し悪しを決めるのではなく，実際に行動する子どもたちにやったことが実感として残ることの方が大切なのではないでしょうか。行事は授業の一環だと認識しております。学びの形が変化していくのであれば，それに伴って行事にどう変化が現れていくのか，楽しみにしております。

＝＝＝＝＝全体の考察＝＝＝＝＝

昨年度よりアンケート回答対象を全世帯にし，保護者の声をより反映するという趣旨のもと，本年度も継続した形でアンケートをとった。また，今回も前期同様，記名式及びWeb回答とし，いただいた御意見や回答内容について，３学期の学校運営や教科指導，児童指導等に活かし，説明責任を果たしていけるように考えている。

後期アンケートについては，前期１９５軒回答から190軒の回答となり，218軒の家庭数に対して，87.15%の回答にとどまった。

全体的に例年通り・前期同様の傾向にあるものの，新型コロナウイルス感染症の影響が少しずつ減少してきたこと，それによって1学期より学校行事（運動会や文化発表会等）が少しずつできるようになったことにより，微増した項目があった。まだまだ制限を受けている活動などがあり，保護者と教職員のコミュニケーション不足による不安もあるが，感染症対策を講じたうえで，できることに工夫して取り組んでいく。

【アンケートからの考察】

＝＝＝＝＝設問１～８　学校教育・学校経営・学校運営について＝＝＝＝＝

【設問１・２　児童理解・生徒指導】

子どものよさや個性を理解し，努力を認めているか，また子どもの悩みや心配事に対して適切に回答していると回答した保護者が，どちらも９５％を超えていて，前期後期とも数値的には横ばいであり，学校の対応に満足していただいていることが分かった。多様性や調和の時代という言葉が聞かれる中，個に対応した指導や支援，教育活動を展開していきたい。

【設問３　学校からの連絡等】

アンケートの数値から判断すると，微増傾向にあり，良好な関係であるとの判断ができる。前期の記述回答の中に，電話での連絡についての御意見をいただき，学校として改善してきたことで，同様の意見等はなかった。また，開かれた学校づくりと観点から，学校だよりや，各種通知やおたより，学校ホームページを通して，保護者への連絡の充実を図った。

【設問４　施設・設備】

・４年生の「分割授業」については，多人数を２つの教室に分けて活動を行なうことで，授業内容の定着，感染症対策の両面に効果が大きかった。４年生の保護者からも記述回答での評価をいただいた。

・昨年度末から懸案事項となっていた教室増設については，Ｒ４年度入学児童が６５名となり，学級編成上３学級となったり，特別支援学級が１学級増えたり等の理由から教室が足り

ない現状がある。市教委との相談や話し合いの中で，既存の特別教室（多目的教室）を教室に改修し（１２月から１月工事），新年度の教室配置を進める方向である。
・新型コロナの関係で夏のエアコンや冬の暖房など空調をいれても，換気の関係で効果が小さい。コロナ対策を優先する関係で仕方ないが，効率よい換気を心がけ，光熱費の節約も含めて対応していきたい。
・２年教室前の廊下がシロアリによる腐食がひどく，夏休み中に修繕を行ったが，別個所からシロアリと思われる腐食が進みつつある。様子をうかがいながら，大きな予算がかかることなので，市教委と相談しながら検討していく。
・教室棟の外壁が一部雨水による腐食があり，壁がはがれている箇所が増えてきている。市教委に相談済みである。

【設問５　地震・災害・不審者対策】
　本年度は予定していた防災・防犯訓練は全て予定通りに行った。特に，今年度の２学期避難訓練は，洪水・土砂災害を考慮した避難訓練や予告なしの「シェイクアウト訓練」を実施し，あらゆる災害や危険から子どもを守れるよう，行政・地域・保護者と連携しながら，計画的に訓練の実施をはかってきた。３学期は警察署の協力を得て不審者対応の防犯訓練を行なう。安全・安心な学校づくりをキーワードとして，今後も危機意識が高まるような指導をしていきたい。

【設問６　地域との協働】
　新学習指導要領の中で，新たに重視するのが「地域と学校との協働」である。地域と学校がともに良好な関係にあるように，新たに項目に取り入れている。コロナ禍で活動も制限されることもあるが，無理がない範囲で進めていきたい。また，県教委，市教委指導のもと，学習指導要領に基づいた教育課程を作成し，授業実践しているものの，記述回答にもあったように，子どもたちの主体性や個性を尊重した教育活動を今後も継続していきたい。

【設問７・８　学校が楽しい・学校教育目標】
　肯定的回答が微増傾向にあるが，否定的な回答者もいる。毎年定期的に実施する「楽しい学校生活を送るためのアンケート（Ｑ－Ｕテスト)」の結果も参考にしながら，学級担任を中心に連携して対応する。どの子も満足できるような教育活動や指導を目指して努力していきたい。

＝＝＝＝設問９～１４　子どもの様子・家庭と学校の連携の様子について＝＝＝＝

【設問９　学習理解】

授業を十分に理解していると回答している保護者が約９７％を占め，かなり高い数値を示している。これは，保護者の皆さんが子どもの学習内容や成果を見てくださっていることや，教員の授業改善の成果であると考えている。

今後も家庭，保護者の理解を得ながら，子どもたちの確かな学力の定着に向け，全教職員で取り組んでいきたい。

【設問１０　早寝・早起き・朝ごはん】

全アンケート項目の中で，最も肯定的な回答が低くなっている。多様な生活スタイルや価値観の多様化など，いろいろな事が要因となっている気がする。学校としては，学年だよりや保健だより等を通じて声かけや啓発活動を行ない，子どもたちの健康的な生活習慣作りを進めていきたい。

【設問１１　携帯電話】

・学校への携帯電話持ち込みについての文部科学省有識者会議の結果（令和２年８月通達）小学校では今までと変わらず原則持ち込み禁止となっている。

・本校では，４分の１の子どもが携帯電話を保有している。

・スマホだけに限らずオンラインゲームやＳＮＳ等が可能な機器については，年間に必ずトラブルが出てくるので学校でも指導を行いたい。今年度は１学期に６年生とその保護者を対象として県教委の方に来て話していただいた。昨年は予定していたが感染症対策で中止となっていたので，とてもよかった。

【設問１２　携帯電話のルール】　（５２回答）

・８８．５％の御家庭で携帯電話等に関するルールやきまり，やくそくなどを作っているという回答があった。しかしながら，１１．５％の家庭で未だ決まっていないとの回答があったため，引き続き呼びかけなどを行っていく。

・子どもを中心として，ネットトラブル等に巻き込まれた事例も多数あるので，御家庭でお子さんと相談のうえ，しっかりとルールやきまり，やくそくなどを決めてほしい。

【設問１３　子どものあいさつ】

・前期同様，あいさつについての肯定意見が１番低く（８５．８％）なっている。記述回答に記入していただいた内容は，おおよそ学校でも把握しており，校長を中心に，児童会本部でも挨拶を重視し元気にあいさつできる取り組みを行っている。しかし，学校ではあいさつできるが，地域ではできていない様子は想像できる。あいさつは，する側が自分の心を開く行為なので，される側があいさつを返さないと不安になり，「こっちが心を開いているのに，相手は心を開かなかった。」となり，不愉快に感じることにつながる。目も合わせない，反応もない，無視したとなると，不愉快を超えて心配になる。

①なぜ，あの子はあいさつできなかったのか（心を開くことができなかったのか），その子の背景に何があるのかを考えてみる必要がある。
②あいさつすると何がよいのかを子どもに実感させる。あいさつできる子は，人間関係でとても得をしていることを理解させる。
③みんながしないから自分もしないというだけの子もいるので，みんながあいさつできる雰囲気を粘り強く作っていく。
④あいさつができる子は，授業中の発言が活発であり，学力向上にもつながる傾向がある。
家庭・地域・学校がそれぞれ行うのでなく，連携して行う必要がある。ＰＴＡ活動での御理解・御協力をいただけるとありがたい。

【設問14　連絡や意思の疎通】
設問３とも関わっているが，９６％を超える肯定意見を得ることができ，学校と家庭との連携・協力体制が構築できていると言える。記述回答にもおおむね良好な評価をいただいており，今後も一層の連絡・意思疎通をはかっていきたい。